

種名 コマツナギ



本州より南に分布しています。野原や土手に生える、草のような、丈の低い木です。茎は細く、たくさん枝わかれし、高さは50~90cm、花は5~9月にうす紫色の小さい花が、たくさん集まったものをつけます。堤防や河原の斜面、丈の低い林のまわりに広く見られます。

種名 カワラヨモギ



本州より南に分布しています。川岸や海岸の砂地にたくさん生えている草で、葉には、びっしりと白い毛がでています。花は9~10月に咲きます。姫川の上流から河口まで、河川敷の草地のいろんなところで見ることができます。なかでも、下流の砂地にはたくさん見られます。

群落名 ウラジロガシ林



ウラジロガシが大部分を占める、高い林です。太平洋側ではよく見られますが、少ないながら、日本海側の雪の多い地帯にも見られます。河口から8kmのあたりより上流で、川に沿った急傾斜のところに見られます。

種名 カワラハハコ



日本全土に分布しています。河原の砂地にたくさん生えています。茎はたくさん枝わかれして、高さは30~50cmになります。葉は細く、ふちは裏に巻いています。カワラヨモギと同じ様なところに生えていますが、堤防の斜面にたくさん見ることが出来ます。

種名 ウラジロガシ



宮城県と新潟県より南に分布しています。暖帯の山地の谷間に生える、常緑の高木で、高さは20m、木の直径は1mにもなります。木の皮は黒っぽい灰色で、白くて円いかたちをした模様があり、裂けることはありません。川に沿った、山の斜面に見られますが、河川敷では、ほとんど目にできません。

種名 ツメレンゲ



関東より西に分布しています。乾いた岩の上や、屋根の上に生える多肉質(葉や茎にたくさんの水分を含む性質)の草で、花をつけると枯れてしまいます。葉の先はかたくて、針のようにとがっています。9~10月頃、穂に白色の小さな花をたくさんつけます。河口から6.5kmあたりより上流の、川に沿った斜面の岩の上に生えています。山本橋の下の堤防の上にも、たくさん生えているのが見られます。